

2012 年度前期淑明女子大学（韓国）との遠隔講義科目 募集要項

＜対象学部：法学部、産業社会学部、国際関係学部、文学部、政策科学部、映像学部＞

立命館大学では 2012 年度、淑明女子大学（韓国、スンミョン女子大学/Sookmyung Women's University）と双方向のリアルタイム遠隔講義システムを利用した科目を開講します。

この科目は、遠隔講義システムを通じて、韓国・ソウルで行なわれている授業をリアルタイムで受講するもので、淑明女子大学の学生（韓国人学生と留学生、留学生には男子学生もいます）とのディスカッションや担当教員との質疑応答を行なうこともできます。また、遠隔講義だけでなく、淑明女子大学の担当教員が実際に来日し、立命館大学の教室で授業が行う機会も設けています。

衣笠キャンパスにいながらにして、外国の大学で行なわれている授業を履修できる貴重な機会です。希望者は下記の内容をよく理解の上、申込みをしてください。

なお、後期開講分に関しては、6 月頃に詳細の案内及び募集を行う予定です。

記

1. 開講科目

＜前期（今回募集）＞

「**韓国の政治と外交 (Korean Politics and Foreign Policy)**」

＜曜日時限＞ 水曜日 18:00～19:45 ＜教室＞ 後日確定

「**外国人のための韓国社会・文化Ⅱ（中上級朝鮮語使用）(Korean Language for ForeignersⅡ)**」

＜曜日時限＞ 火曜日 18:00～19:45 ＜教室＞ 後日確定

＜後期（後日 6 月頃募集）＞

「**韓国文化入門 (Twelve Gateways of Korean Culture)**」

＜曜日時限＞ 曜日時限は後日確定 ＜教室＞ 後日確定

2. 対象学部

＜前期＞

科目名	法	産社	国関	文	政策	映像
韓国の政治と外交	○	○	○	○	○	○
外国人のための韓国社会・文化Ⅱ（中上級朝鮮語使用）	○	○	○	○	×	○

＜後期＞

科目名	法	産社	国関	文	政策	映像
韓国文化入門	○	○	○	○	×	○

○がついている科目が受講可能です。

ここに記載のない学部所属学生は受講することができません。

3. 対象回生

2 回生以上

4. 各科目の概要

<前期>

「韓国の政治と外交」

担当：Dr. Jung In Jo、コーディネーター：中達啓示教授（国際関係学部）

この科目では、比較政治論と国際関係論の観点から、とりわけアジア諸国と比較しながら、韓国の政治・外交について分析・概観します。授業は英語で行われます。

「外国人のための韓国社会・文化Ⅱ（中上級朝鮮語使用）」

担当：Dr. Mi Jin Won、コーディネーター：文京洙教授（国際関係学部）

この科目は、すでに朝鮮語を学んだ経験のある学生のための韓国社会・文化(中上級朝鮮語使用)のクラスです。様々な教材を用いて韓国の社会や文化について学びながら朝鮮語を勉強します。授業は朝鮮語で行われます。

<後期>

「韓国文化入門」

担当：Dr. Hyejin Song、コーディネーター：文京洙教授（国際関係学部）

韓国文化の‘外’から門を一つずつ開いて韓国文化の‘内’に入り、韓国文化の‘内’から世界文化に向かって‘外’に視野を広げることができる12のキーワードを中心に、世界とコミュニケーションする韓国文化の理解と方法論を学びます。授業は朝鮮語で行われます。

5. シラバス（前期開講分）

別紙参照。

6. 授業の進め方

各科目は淑明女子大学の教員が淑明女子大学から行き、立命館大学の学生は遠隔講義システムが配備されている衣笠キャンパスの教室で受講します。遠隔講義システムはリアルタイムで両大学の教室を接続し、受講者は講義を聞くだけでなく、教員へ質問や、淑明女子大学の学生とのディスカッションを行います。講義は淑明女子大学の教員が担当しますが、立命館大学の教員もコーディネーターとして、双方向型の授業をサポートします。

また、授業のうち数回程度は淑明女子大学の教員が実際に来日し、立命館大学のキャンパスで対面授業を実施します。詳しい日時・教室などは、別途、お知らせします。

7. 授業スケジュール（前期開講分）

《遠隔講義》

各科目の授業は4月の立命館大学授業開始時よりスタートし、6月中に終了します。

《対面授業》

実際に淑明女子大学の教員が来日し、授業を実施します。募集開始までに日程を公開しますので、受講希望者は予定しておいて下さい（4月上旬及び6月中下旬の土曜日もしくは日曜日を予定）。

8. 語学力（前期開講分）

受講に際して語学要件は特に定められていませんが、上記の通り、英語もしくは朝鮮語で授業を受けることになることから、一定の語学力を目安とします。

「韓国の政治と外交」：TOEFL500点程度

「外国人のための韓国社会・文化Ⅱ（中上級朝鮮語使用）」

：朝鮮語の中上級レベル／「外国人のための韓国社会・文化Ⅰ（中級朝鮮語使用）」修了程度

9. 単位認定分野

科目を履修すると淑明女子大学で定める単位が授与され、この単位は立命館大学の単位として認定されます（N評価）。各学部によって認定分野・科目名は異なります。この単位は年間の登録上限単位数には含まれません。〈認定単位数：2単位〉

開講期間	前期		後期
科目名	韓国の政治と外交	外国人のための韓国社会・文化Ⅱ (中級朝鮮語使用)	韓国文化入門
法	「外国留学特修科目」 〈専門科目〉	「外国留学科目（総合）」 〈教養科目〉	「外国留学科目（総合）」 〈教養科目〉
産社	「外国留学科目」 〈教養科目（総合学術科目A群）〉	「外国留学科目」 〈自由選択科目〉 *国際インスティテュート生は 〈随意科目〉	「外国留学科目」 〈教養科目（総合学術科目A群）〉
国関	①2010年度以前適用カリキュラム 「外国留学科目」 〈固有専門科目〉 ②2011年度適用カリキュラム 「外国留学科目（固有専門関連科目）」 〈固有専門関連科目〉	①2010年度以前適用カリキュラム 「専門外国語（認定）」 〈専門外国語科目〉 ②2011年度適用カリキュラム 「外国留学科目（選択外国語）」 〈選択外国語科目〉	①2010年度以前適用カリキュラム 「専門外国語（認定）」 〈専門外国語科目〉 ②2011年度適用カリキュラム 「外国留学科目（選択外国語）」 〈選択外国語科目〉
文	「人文科学総合講座特殊講義Ⅰ」	「人文科学総合講座特殊講義Ⅰ」	「人文科学総合講座特殊講義Ⅰ」
政策	「ビジョン形成特殊講義科目」		
映像	「外国留学特修科目」 〈自由選択科目〉	「外国留学特修科目」 〈自由選択科目〉	「外国留学特修科目」 〈自由選択科目〉

1.1. 申込み方法（前期開講分）

受講申込用紙に必要な事項を記入の上、期限までに提出してください。

募集期間：2012年3月23日（金）～3月30日（金）17：00

提出場所：衣笠国際教育センター（明学館1F）国際企画課窓口

*応募結果など受講者への連絡はメールで行ないます。

*女子大学ですが、今回の科目は男子学生も受講できます。

*後期開講分は6月頃に詳細の案内及び募集を行います。

〈説明会〉興味のある方は気軽に参加して下さい。

3月23日（金）12：00-13：00 恒心館727

1.2. 問合せ窓口

質問は、衣笠国際教育センター（明学館1F）国際企画課まで

以上

【淑明女子大学とは?】

淑明女子大学は、1906年に韓国初の私立の女子大学として創立された伝統ある大学です。教養学部、法政学部、経済学部、生命科学部、薬学部などを有する総合大学で、ソウル市内にキャンパスがあり、1万人以上の学生が学んでいます。2004年度から立命館大学と交換留学を実施しています。また淑明女子大学との共同学位プログラムに参加している学生が本学で学んでいます。

2012 年度淑明女子大学（韓国）との遠隔講義 前期開講科目 ＜受講申込書＞

必要事項を記入の上、期限までに提出してください。

受講希望科目 (○をつける)	1. 韓国の政治と外交 (Korean Politics and Foreign Policy) 2. 外国人のための韓国社会・文化Ⅱ(中上級朝鮮語使用) (Korean Language for ForeignersⅡ)		
氏名			
氏名 (英字)			
学生証番号			
所属	学部	学年	回生
※国際インスティテュート生のみ該当プログラムに○ 国際 (法務 ・ 社会 ・ 福祉 ・ 公共) プログラム			
携帯電話番号			
メールアドレス			
語学力	<英語> TOEFL : 点 TOEIC : 点 その他 : <朝鮮語> ※語学資格や学習経験を記載してください。		
留学経験 (あれば)	参加プログラム名称 : 滞在国 : 滞在期間 :		

募集期間 : 2012 年 3 月 23 日 (金) ~2012 年 3 月 30 日 (金) 17 : 00 厳守

提出先 : 衣笠国際教育センター (明学館 1F) 国際企画課窓口

科目名(クラス) / Course Title, Class 韓国の政治および外交 (Korean Politics and Foreign Policy)

担当者 / Instructor Jung-In Jo

授業の概要 / Course Outline

この科目では、比較政治論と国際関係論の事例として朝鮮半島における政治について取り上げ、韓国政治についても分析し概観する。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では3つの目標を設定している。(1) 韓国および国際政治における特徴的な問題 (2) 時事問題の歴史的文脈の中での理解 (3) 現代の問題について分析するためのツール提供。この科目では、韓国政治における歴史的発展を考察することから始め、急速な工業化と経済危機をめぐる政治経済学、グローバリゼーション、民主主義への移行・定着、政治文化、政治機関、反アメリカ主義、北朝鮮の核問題などを取扱う。その後、経済的相互依存の増大および民主化を通して可能になった、この地域における「リベラル・ピース」への展望について考察する。最後に東アジア地域の将来的な見通しについて議論する。

授業スケジュール / Course Schedule

授業回数 Lecture	テーマ Theme キーワード Key Word
第1回	テーマ/Theme この科目の紹介および概要説明 キーワード/Key Word
第2回	テーマ/Theme 開発国家 キーワード/Key Word "Kicking Away the Ladder" http://www.paecon.net/PAEtexts/Chang1.htm
第3回	テーマ/Theme 開発国家、アジアの奇跡に潜む悪魔との社会契約 キーワード/Key Word "Building a Developmental State" http://sociology.fas.nyu.edu/docs/IO/225/building.developmental.pdf Video: Tankman
第4回	テーマ/Theme 経済統治：文化を考慮する キーワード/Key Word Kihl Young Hwan "The Legacy of Confucian Culture and South Korean Politics" http://www.ekoreajournal.net/upload/pdf/PDF3435
第5回	テーマ/Theme 中国の勃興と世界の勢力変化 キーワード/Key Word Kugler et al. "Power Transition and China US Conflicts" http://web.rollins.edu/~tlairson/china/chinauspowertrans.pdf
第6回	テーマ/Theme アジア経済危機：アジアの“メルトダウン”の特徴とは？ キーワード/Key Word Jeffrey Sachs "Wrong Medicine For Asia" http://www.freeessays.cc/db/15/euz191.shtml
第7回	テーマ/Theme 中間テスト キーワード/Key Word
第8回	テーマ/Theme 学生によるプレゼンテーション（グループ発表） キーワード/Key Word

第9回	テーマ/Theme アジアの民主化：民主主義への移行 I (E-Class)
	キーワード/Key Word Lee Jun Han, "Primary Causes of Asian Democratization: Dispelling Conventional Myths" http://web.rollins.edu/~tlairson/sd/asiandemoc.pdf
第10回	テーマ/Theme 民主主義への移行と定着 II
	キーワード/Key Word
第11回	テーマ/Theme 朝鮮半島における核危機
	キーワード/Key Word Documentary: Kim's Gamble (www.pbs.org)
第12回	テーマ/Theme まとめ：リベラル・ピースなど (E-Class)
	キーワード/Key Word Mousseau et al. "How the Wealth of Nations Conditions the Liberal Peace" http://portal.ku.edu.tr/~mmousseau/Mous_Hegre_Oneal_EJIR_Jun03.pdf
第13回	テーマ/Theme 特別講義 日本病への処方箋
	キーワード/Key Word
第14回	テーマ/Theme テスト
	キーワード/Key Word
第15回	テーマ/Theme 学生による発表
	キーワード/Key Word

(学部科目 / Undergraduate Courses) 授業外学習の指示 / Recommendations for Private Study

最終レポートの作成とその発表について。教材をより理解するため、学生は分析レポートの執筆が求められる。締切日である最終授業日には、9ページのレポートを提出する必要がある。授業では韓国政治に関する全ての事柄を取扱うだけの余裕がないため、授業ではカバーされていない重要な問題について、自分でリサーチし、レポートを執筆する必要がある。この課題によって、学生自身が選んだ重要な問題についてより精通し、リサーチとライティング能力の向上を目指す。

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 Kind	割合 %	評価基準等 Grading Criteria etc.
定期試験 (筆記) End of Semester Examination (Written)	%	
レポート試験 Report Examination (統一締切日を締切とするレポート) (A report to be submitted by the standard deadline)	%	
平常点評価 Continuous Assessment ・ 日常的な授業における取組状況 の評価 Evaluation of Everyday Performance in Class ・ 学習到達度を最終的に確認する テスト Exam for Final Verification of Attainment Levels ・ レポート Report	100%	最終レポートとプレゼンテーション 15% 中間テスト 25% 最終テスト 30% 参加 10% 授業で取組むシミュレーションへの参加 10% 出席 10%

教科書 / Textbooks

(書名、著者、出版社、ISBNコード、備考) (Title, Author, Publisher, ISBN Code, Comment)

E-Class およびシラバス上にアップロードされた教材を使用する。

参考書 / Reference Books

(書名、著者、出版社、ISBNコード、備考) (Title, Author, Publisher, ISBN Code, Comment)

Soong Hoom Kli and Chung-in Moon, *Understanding Korean Politics*, Albany SUNY Press, 2001

David Kang, *Crony Capitalism: Corruption and Development in South Korea and the Philippines*, Cambridge Press, 2002

Katharine H.S. Moon, *Sex among Allies: Military Prostitution in US-Korea Relations*, Columbia University Press, 1997

David Kang, *China Rising: Peace, Power, and Order in East Asia*, Columbia University Press, 2007

Koo Hagen, *State and Society in Contemporary Korea*, Ithaca and London: Cornell University Press, 1993

科目名(クラス) / Course Title, Class 外国人のための韓国社会・文化Ⅱ (中上級朝鮮語使用)

担当者 / Instructor Mi-Jin Won

授業の概要 / Course Outline

この科目は、「外国人のための韓国社会・文化 (中級朝鮮語使用)」修得済レベル (中上級レベル) の朝鮮語の運用能力を持つ学生を対象に、韓国の社会や文化の理解を深めることを目的としている。授業は、主に基礎的な朝鮮語で実施され、教員の指示の下、学生は可能な限りクラスメイトと朝鮮語で話すことになる。インターネットやオーディオ、ビデオ、紙媒体など様々なメディアを用いて韓国社会や文化の理解を深めるとともに、言語の4技能であるスピーキング、リスニング、リーディング、ライティング能力を培う。

到達目標 / Attainment Objectives

この科目では次の能力を伸ばすことを目的としている。

- ・韓国の基礎的な社会文化の理解
- ・中上級レベルの朝鮮語会話能力 (発音、基本的な文法パターン、一般的な語彙、基本的な用法)
- ・中上級レベルの朝鮮語のリーディングとライティングスキル

授業スケジュール / Course Schedule

授業回数 Lecture	テーマ Theme キーワード Key Word
第1回	テーマ/Theme 講義計画紹介及び朝鮮語能力評価 キーワード/Key Word
第2回	テーマ/Theme 支出の減らし方 キーワード/Key Word 経済関連用語、韓国の経済問題
第3回	テーマ/Theme 脂肪の落とし方 キーワード/Key Word 運動方法、生活習慣
第4回	テーマ/Theme 後悔をする キーワード/Key Word 人生計画、思考方式
第5回	テーマ/Theme 想像にお任せします キーワード/Key Word 推測、予想、人の話を理解する
第6回	テーマ/Theme 性格について話す キーワード/Key Word 性格を表現する、性格と運命
第7回	テーマ/Theme おさらいと中間テスト キーワード/Key Word
第8回	テーマ/Theme 伝染病に注意 キーワード/Key Word 病気と病院、予防と治療
第9回	テーマ/Theme 習慣 キーワード/Key Word 習慣を語る、悪い習慣を見直す
第10回	テーマ/Theme 外見と性格 キーワード/Key Word 外見を整える、異性との交際

第11回	テーマ/Theme 環境を考える
	キーワード/Key Word 自然と環境、環境問題
第12回	テーマ/Theme 韓国の結婚文化
	キーワード/Key Word 結婚文化、昔と今の結婚式比較
第13回	テーマ/Theme 価値基準
	キーワード/Key Word 大学生の価値観、韓国人の価値観
第14回	テーマ/Theme 事件と事故
	キーワード/Key Word ニュースの理解、記事の作成
第15回	テーマ/Theme 全体の総まとめと最終テスト（筆記試験・口頭試験）
	キーワード/Key Word

成績評価方法 / Grading Criteria and Method of Evaluation

種別 Kind	割合 %	評価基準等 Grading Criteria etc.
定期試験（筆記） End of Semester Examination (Written)	%	
レポート試験 Report Examination (統一締切日を締切とするレポート) (A report to be submitted by the standard deadline)	%	
平常点評価 Continuous Assessment ・ 日常的な授業における取組状況の評価 Evaluation of Everyday Performance in Class ・ 学習到達度を最終的に確認するテスト Exam for Final Verification of Attainment Levels ・ レポート Report	100%	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題 : 40% ・ 中間テスト : 20% ・ 最終テスト : 20% ・ 小テスト : 10% ・ 授業参加 : 10%

教科書/ Textbooks

(書名、著者、出版社、ISBNコード、備考) (Title, Author, Publisher, ISBN Code, Comment)

숙명한국어 4, 숙명여자대학교 국제언어교육원

(『淑明韓国語 4』淑明女子大学校国際言語教育院)

その他 / Others

この科目は主として朝鮮語で行いますが、必要であれば韓国文化に関するミニ講義を英語で実施します。
韓国人チューターが、必要に応じて個別に受講者のサポートをします。